

## NEWS23 週刊報告 12月1号 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：12/1(金)～12/8(金)

### ・12月1日(金)

天皇陛下退位、日馬富士暴行事件、北朝鮮漁船、ティラーソン国務長官更迭説についてなどの報道がありました。天皇陛下退位、北朝鮮漁船については放送法第四条の見地からの検証・検討を行いました。ティラーソン国務長官更迭説については印象操作が疑われる場面がありました。

### ・12月4日(月)

北朝鮮漁船、米韓合同軍事演習、森友学園問題、日馬富士暴行事件と冬巡業などの報道がありました。北朝鮮漁船、米韓合同軍事演習、森友学園問題については放送法第四条の見地からの検証・検討を行いました。北朝鮮漁船をめぐる問題の報道では事実を曲げていると疑われる場面がありました。また、森友学園問題については検証者の所感を記しました。

### ・12月5日(火)

日馬富士暴行事件、大阪府職員が付度の疑惑、北朝鮮の新型ミサイル、北朝鮮漁船などの報道がありました。大阪府の問題、北朝鮮の新型ミサイル、北朝鮮漁船の報道については放送法第四条の見地からの検証・検討を行いました。また、大阪府の問題と北朝鮮漁船については検証者の所感を記しました。

### ・12月6日(水)

エルサレムへのアメリカ大使館移転、日馬富士問題、NHK 受診料支払いは義務、プーチンの大統領選出馬表明などが報じられました。エルサレムへのアメリカ大使館移転およびNHK 受信料をめぐる問題については放送法第四条の見地からの検証・検討を行いました。また、エルサレムへのアメリカ大使館移転については印象操作が疑われる場面もありました。加えて、検証者の所感も記しました。

### ・12月7日(木)

米国がエルサレムを首都認定、北朝鮮漁船、沖縄県の保育園屋根に落下物、森友・加計学園問題などが報じられました。エルサレム問題、北朝鮮の木造船、沖縄県での落下物、森友・加計問題については放送法第四条の見地からの検証・検討を行いました。また、森友・加計問題については検証者の所感も記しました。

### ・12月8日(金)

北朝鮮漁船問題、トランプ大統領の「イスラエルの首都エルサレム」発言の影響、経済政策の閣議決定と幼児教育について、天皇陛下退位日決定などについて報じられました。北朝鮮漁船、トランプ大統領発言の影響、幼児教育については放送法第四条の見地からの検証・検討を行いました。幼児教育については印象操作が疑われる場面がありました。また、トランプ大統領発言の影響については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2017年12月1日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：天皇陛下退位、北朝鮮漁船、ティラーソン国務長官更迭説について		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天皇陛下退位に向けての皇室会議開催 スタジオでは女性宮家・女性天皇についても言及された</li> <li>・日馬富士暴行事件</li> <li>・インフル、早くも流行入り</li> <li>・新語・流行語大賞</li> <li>・小麦粉・野菜・ガソリンなど幅広い商品の値上げとドンキホーテが市場最安値2万円のパソコンを販売</li> <li>・北朝鮮漁船</li> <li>・トランプ政権でティラーソン国務長官更迭か、トランプ大統領は更迭説を否定</li> <li>・ヒルクライム DJ 大麻所持で逮捕</li> <li>・ロヒンギャ難民を現地取材</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> <li>・イギリス、ヘンリー王子が JNN 記者に逆質問</li> <li>・【速報】アメリカ、フリン前補佐官がロシア疑惑の虚偽供述で訴追される</li> </ul>		
<p>検証報告（放送法第4条の見地から）および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天皇陛下退位 VTR では皇室会議の結論として2019年4月30日の天皇陛下退位と翌5月1日に皇太子さまが即位されるということが決定されたこととあわせて、平成という元号が変わることについての街の声について報じられた。このことについては特に放送法四条の見地から検証を行うような争点は見られなかった。 対してスタジオでは皇位の安定的継承ということで、女性天皇や女性宮家について言及され、星キャスターが「そろそろ女性天皇の在り方ですとかね、女性宮家は必要かどうかとかそういう議論を政治の側も進めていく必要もあると思いますね。」と発言した。このトピック自体の報道に当てられた時間が363秒であるのに対し、女性天皇や女性宮家に言及されたシーンは26秒だった。このスタジオでの議論については皇位継承において、世襲の原理となっている皇統や男系継承の原則をどうするのかという議論もある中で、女性天皇や女性宮家のみを取り上げるのは放送法四条一項二号の政治的公平や同四号の意見の対立する問題について多角的な論点の明示という点では不十分であったといえる。</li> <li>・北朝鮮漁船 今日の報道は、北朝鮮の漂流船が無人島に寄っていることと、船内から家電製品が発見されたこと、という新事実が報じられるとともに、無人島で物資を盗んだのでは、という北海道の漁業関係者や住民の疑念が紹介されていた。今回のトピックの報道に当てられた時間は99秒だった。報道時間が短いこと、報道内容自体には賛否</li> </ul>		

に分かれるような論点が提示されなかったため、今回は放送法四条の見地からは問題は見られなかった。

・ティラーソン国務長官更迭説について

トピック自体は特に賛否の分かれるものではなかったが、印象操作が疑われる箇所があったため、下の欄で報道内容要旨と併せて印象操作について記入する。

「印象操作」に関する所見（最高裁判例の見地から）および該当トピックの報道内容要旨

・ティラーソン国務長官更迭説について

駒田健吾キャスターによって「アメリカの複数のメディアは30日、ホワイトハウスが数週間以内にティラーソン国務長官を更迭し、後任にCIAの長官を起用する案を策定したと報じました。ティラーソン氏を巡っては北朝鮮への対応などをめぐり、トランプ大統領との意見の違いが指摘されています。10月にはトランプ氏を間抜けと批判し一時は辞意を固めていたと報じられています。トランプ大統領は更迭説を否定しています。」と概要が説明された後に星浩キャスターと雨宮塔子キャスターのやり取りがスタジオで行われた。このやり取りでの「対話派のティラーソンさんがやめるとね、やっぱりマティスさん、国防長官の発言力が大きくなる可能性が高いですよ。まあ、軍イコール強硬派とは限らないんですけどもそれでも対話の流れがしぼんでくる可能性が出てますよね」という星キャスターの発言は「軍イコール強硬派とは限らないんですけども」と留保を付しているものの、総合的に判断すると、普通の注意で視聴を行う一般視聴者に対して「軍＝強硬派」という印象を与えるものであるといえる。

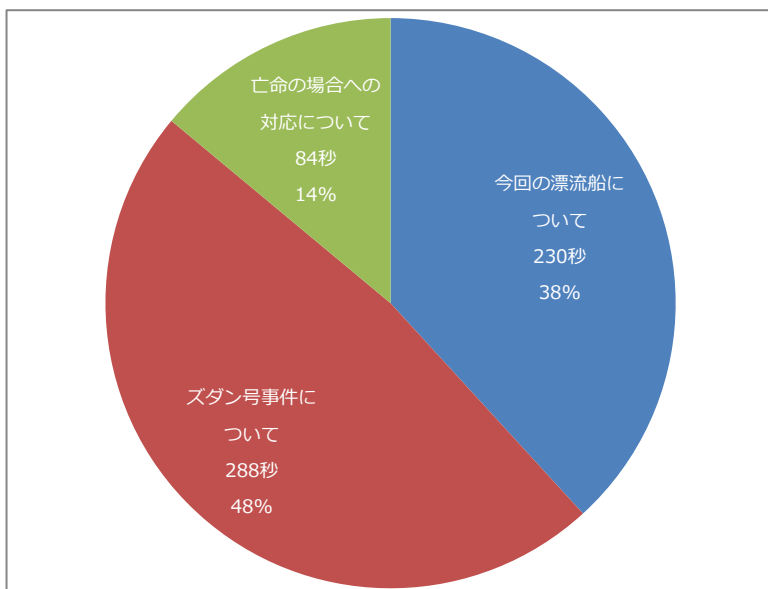
検証者所感

・ティラーソン国務長官更迭説について

印象操作の欄で指摘したように、星キャスターのスタジオでの発言は「軍イコール強硬派」という印象を与えかねないものであったが、国際政治学者である三浦瑠麗氏の博士論文『シビリアンの戦争: 文民主導の軍事介入に関する一考察』によると、軍人はむしろ戦争に対して穏健であり、軍に関与しない文民のほうが軍人よりも強硬になるということも十分に有り得る、ということが指摘されている。

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2017年12月4日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：北朝鮮漁船、米韓合同軍自演習、森友学園問題		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北朝鮮漁船 <ul style="list-style-type: none"> <li>30年前のズ・ダン号事件についての言及があった</li> </ul> </li> <li>・米韓合同軍事演習</li> <li>・森友学園問題</li> <li>・日馬富士暴行事件と冬巡業</li> <li>・先生の「働き方改革」</li> <li>・渋谷のセンター街で火災</li> <li>・京都でイノシシが学校内に侵入</li> <li>・【速報】イエメンでフーシ派のテレビ局がサレハ前大統領の死亡を報道</li> <li>・今年の一皿は「鶏むね肉」</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> <li>・上司との飲み会について 月にゼロが四割、理想は月に一回2時間</li> </ul>		
<p>報道内容要旨および検証報告（放送法第4条の見地から）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北朝鮮漁船 <p>相次ぐ北朝鮮からの漂着船が、今日も秋田と山形で見つかり、今回は四人の遺体もあわせて発見されたことを受けての報道だった。このトピックについての今日の報道構成は、漂着船が発見された事件について報じられた後に、30年ほど前に北朝鮮からの鋼鉄の小型船のズ・ダン号が福井県の日本海沿岸に漂着し乗組員が亡命を主張したズ・ダン号事件についての紹介が行われた上で、今回の漂着船に亡命希望者が乗っている可能性が十分ありえて、その場合は日本政府としてどう対応をするのだろうか、という問題提起が行われる、という構成だった。</p> <p>今回の漂着船の発見自体やズ・ダン号事件の紹介については賛否の分かれる問題ではなかった。また、亡命の可能性についてはVTRの中でジャーナリストの平井久志氏が「亡命を考えている人が船舶を使って計画的に、なんとかして脱出するというケースが今後出てこないとはいえない。問題は日本に來たいんだと言われた時に日本政府は非常に困る、ということなんです」と、またスタジオでは星浩キャスターが「日本には政治亡命を受け入れるっていう制度がないものですから、なんともしようがないという状況になる可能性があるんですよ。これだけ沢山の人が漂流しますと万が一ということが起きる可能性があるわけですからそろそろそういう備えをする必要があるかもしれませんね」とコメントしていたが、どちらのコメントも日本政府はどうするのか、という点について具体性を欠いているため、今回は賛否を区別することが不可能であった。しかし、星キャスターのいう政治亡命が難民を意味するのであれば、日本は難民条約加盟国であり難民受け入れの制度自体は持っている、「政治亡命を受け入れる制度がない」という発言は誤りであり、これは放送法第四条一項三号「報道は事実を曲げないでする」に反している可能性が高い。</p> </li> </ul>		

なお、今回の報道の内訳は以下のとおりであった。



また、いずれのポイントにも該当しない時間はなかった。

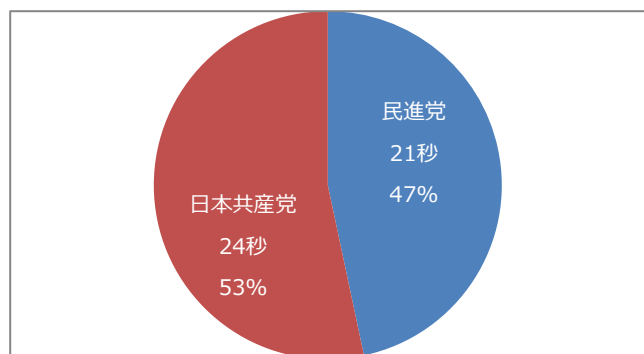
#### ・米韓合同軍事演習

米韓の合同軍事演習およびそれについての韓国、アメリカ、北朝鮮のステートメントおよび反応が報じられた。今回は日本の対応については話題とはならなかったため、放送法第四条の検証の対象とはしなかった。なお、このトピックについて報じられた時間は109秒だった。

#### ・森友学園問題

JNNの世論調査、および今日の参議院での国会論戦の様子が報じられた。国会の質疑では民進党と共産党の議員による質疑のシーンが報じられていた。

このトピックについて報じられた時間は173秒であり、うち民進党と共産党の質問及びそれへの回答が報じられていた時間は以下のとおりである。また、どちらも総理への質問が取り上げられていた。



この土日に行ったJNNの世論調査で、安倍内閣の支持率は52.7%でほぼ横ばい。不支持率は45.7%で二ヶ月続けて、支持が不支持を上回った一方で、森友学園への国有地売却問題では政府の説明に納得出来ないと答えた人が

81%に上ったこと、また森友学園や加計学園の問題を来年の通常国会でも審議すべきかどうかについて引き続き審議すべきと答えた人は55%で審議する必要が無いと答えた人が39%だった、ということが報じられていた。

「印象操作」に関する所見（最高裁判例の見地から）

特になし

検証者所感

・北朝鮮漁船問題

難民受け入れについては外務省ホームページ(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/nanmin/main3.html>)を参考にした。

・森友学園問題

駒田キャスターが冒頭で「81%この数字を総理はどう受け止めるのでしょうか。森友学園への国有地売却問題をめぐり、政府の説明に納得できないとする人が八割を越えていることがJNNの世論調査でわかりました。」とコメントしていたが、他方で世論調査では81%が政府の説明に納得できないとしていながら、森友学園や加計学園の問題については来年の通常国会で引き続き審議すべきと答えた人が55%いる反面、引き続き審議する必要はないと答えた人が39%いた、ということも重要であろう。説明に納得出来ないわけではない19%の人が全員、引き続き審議する必要はないと答えていたとしても、それでも納得できない81%のなかでも20%ぶんほどは引き続き審議する必要はないと答えているのであり、こちらの数値について森友学園や加計学園問題を追及している人たちはどう受け止めるのだろうか、気になるところではある。また、今回の報道では質問は全て総理に向けられたものであったが、近畿財務局や大阪航空局について所管する財務大臣や国土交通大臣に対しては質問はないのだろうか、こちらも気になるところである。

星キャスターはスタジオで「森友問題で追加調査に後ろ向きの答弁を繰り返した佐川前理財局長ですね、この人の国税庁長官への昇格について適材適所だと答弁したんですね、まあこういう答弁を繰り返している限りですね、国民の理解は広がらないと思いますね。」とコメントしていた。ところで、財務省では「次官級」と呼ばれるポストは財務事務次官、財務官そして国税庁長官があるが、この中で財務事務次官は官房長を経て主計局長から昇進するケースが多く、国際金融のプロフェッショナルである財務官は国際局長から昇進するケースが多い。対して国税庁長官は主税局長から昇進するケースが多いが近年では理財局長から昇進するケースも目立っている、他方で過去には理財局長から官房長へと異動となるケースも多く見られている。また、官庁では一定の職階以上ではポストに付けない人が退職していくことで、次官級になる官僚が絞られていく。このあたりの財務省の現状について解説が欲しいところである。

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2017年12月5日															
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙																	
検証テーマ：大阪府議会、北朝鮮のミサイル、北朝鮮漁船																	
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・師走寒波襲来</li> <li>・日馬富士暴行事件</li> <li>・羽生善治さん、史上初「永世八冠」</li> <li>・スパコン開発のベンチャー経営者斉藤元昭容疑者が逮捕 経費を水増しし助成金を詐取</li> <li>・【異変アリ】錦鯉の市場</li> <li>・大阪府職員が議員に付度の疑惑</li> <li>・東京渋谷の火災、原因はホルモンだったことが判明 ホルモンが原因で火災になるケースは相次いでいる</li> <li>・北朝鮮の新型ミサイル</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> <li>・北朝鮮漁船</li> </ul>																	
<p>報道内容要旨および検証報告（放送法第4条の見地から）および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府議会</li> </ul> <p>このトピックに当てられた時間は秒で、付度があったとする見方、大阪維新の会の弁明、大阪の職員の弁明、元大阪府議の森山衆議院議員のコメントの紹介に当てられた時間の配分及び比率は以下のとおりである。</p>																	
<table border="1"> <caption>報道内容要旨および検証報告の時間配分</caption> <thead> <tr> <th>トピック</th> <th>時間 (秒)</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>付度があったのではとする疑惑</td> <td>155</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>維新の議員側の弁明</td> <td>41</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>大阪の職員の弁明</td> <td>35</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>森山衆議院議員(元大阪府議)のコメントの紹介</td> <td>21</td> <td>8%</td> </tr> </tbody> </table>			トピック	時間 (秒)	比率 (%)	付度があったのではとする疑惑	155	62%	維新の議員側の弁明	41	16%	大阪の職員の弁明	35	14%	森山衆議院議員(元大阪府議)のコメントの紹介	21	8%
トピック	時間 (秒)	比率 (%)															
付度があったのではとする疑惑	155	62%															
維新の議員側の弁明	41	16%															
大阪の職員の弁明	35	14%															
森山衆議院議員(元大阪府議)のコメントの紹介	21	8%															
<p>今回は特に問題となる箇所は見られず、また維新の議員、大阪府の職員、そして府議会OBとそれぞれの関係者の声をバランスよく取り上げていたと評価できる。</p>																	

・北朝鮮のミサイル。

先月 29 日、日本時間の午前 3 時過ぎに北朝鮮から発射された新型の大陸間弾道ミサイルが日本海に落下するまでの間で香港のキャセイパシフィック航空の乗務員がミサイルとみられる物体を目撃したと AP 通信が伝えた、ということが報じられた。また、国連で政治局のトップ、フェルトマン事務次長が今夜北朝鮮に到着し、今日から 8 日まで平壤に滞在しリ・ヨンホ外相などと会談する予定であることも併せて報じられた。このトピックについて報じられた時間は 114 秒だった。今回は特に争点となるような報じ方ではなかった。

・北朝鮮漁船

北海道南部の松前小島に着岸した北朝鮮の木造船に朝鮮人民軍第 854 軍部隊とハングルと数字で表記されていることが判明し、警察と海上保安庁は木造船乗組員十人の身元や島に避難するまでの経緯などの実態解明を進めていることが報じられた。またスタジオでは星キャスターが「船を保管したり運送したり処分したり経済的な負担もばかにならない」と自治体の負担についてコメントしていた。

このトピックの報道に当てられた時間は 51 秒だった。

「印象操作」に関する所見（最高裁判例の見地から）および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

検証者所感

・大阪府議会

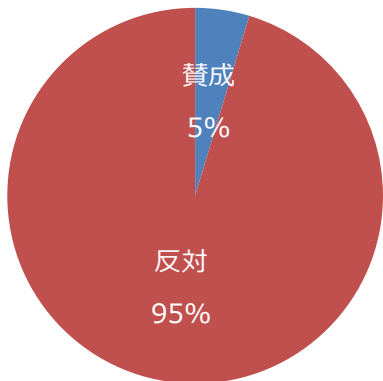
VTR では「ぶどう以外に輸出できる大阪産の果物はないか」という質問に対する「いちじくのニーズが高い」という答弁の組み合わせが府の職員が作ったとされる想定問答として紹介されていたが、これは「大阪府環境農林水産部部長」という、今回の問題の部所が自分たちの政策をアピールできる質疑であり、府議会議員や維新に付度したというよりは自分たちの仕事がやりやすいように、という動機でやっているような印象を受けた。

また、スタジオでは駒田キャスターが「かつて、大阪府議だった森山衆議院議員がこのように話しているんですね。大阪市や大阪府の職員からすると常にやっていることだと思う。こういうふうに質問しませんかと府の職員が持ってくる、そのほうが答弁能力がない議会で楽に答弁できますから、と話している」というコメントしていた。これに対して、星キャスターが「まあ、私の経験でもね、少なからずの自治体で、職員がね、質問を作っただけ、行政をチェックするのが議員の最大の仕事ですからね。そういうことを怠るようでは益々有権者からそっぽを向けられますよね。」と答えていたが駒田キャスターの「府の職員は自分たちのために質問作りをしているのでは？」という問いかけに対しては答えていないので、会話が噛み合っていないような印象を受けた。

・北朝鮮漁船

連日、北朝鮮から漁船が漂着しているが、軍の関与についてであるとか日本政府の対応についてはもう少し掘り下げて報じて欲しい。



テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2017年12月6日												
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲菜、宇内梨沙														
検証テーマ：エルサレムにアメリカ大使館、NHK受信料														
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エルサレムにアメリカ大使館</li> <li>・日馬富士が知人に語った第二の人生</li> <li>・ロシアドーピング疑惑</li> <li>・北京、アリ族と呼ばれる住民たち</li> <li>・渋谷でサルを目撃情報</li> <li>・NHK受診料支払いは義務</li> <li>・スパコン開発社長逮捕</li> <li>・タイム誌の今年の人にセクハラ被害告発者</li> <li>・スポーツ、気象情報</li> <li>・プーチン大統領、来年の大統領選に出馬表明</li> </ul>														
<p>報道内容要旨および検証報告（放送法第4条の見地から）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エルサレムにアメリカ大使館移転</li> </ul> <p>トランプ大統領の大使館移転に対して各国首脳の反応やパレスチナ住民の反応が報道された。賛否の時間配分、比率は以下の通りである。</p> <p>賛成 9 秒、反対 184 秒、どちらでもないシーンが 310 秒あった。</p>														
 <table border="1"> <caption>賛否の時間配分</caption> <thead> <tr> <th>賛否</th> <th>時間 (秒)</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賛成</td> <td>9</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>反対</td> <td>184</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>310</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>			賛否	時間 (秒)	比率 (%)	賛成	9	5%	反対	184	95%	どちらでもない	310	0%
賛否	時間 (秒)	比率 (%)												
賛成	9	5%												
反対	184	95%												
どちらでもない	310	0%												
<p>肯定的と考えられるのは、トランプ大統領がユダヤ系アメリカ人の集会においての、大使館をエルサレム移転するという宣言のみであった。対してパレスチナ系住民の反応や、各国首脳の声明等、否定的な意見は多角的に報道されていた。</p>														

スタジオ内では日本の姿勢についての論議が多く中立的な姿勢が保たれていたものの、現地レポートにおいてはパレスチナ内部での不満の声が大きく伝えられた。またワシントン支局長緒方誠氏の中継では、トランプ大統領を「理念なき大統領の姿を浮き彫りにしています。」と伝えており、大使館移転とトランプ政権への反対が強く打ち出された報道であった。

以上のことを踏まえると放送法4条第1項第2号の「政治的に公平であること」及び、同第4号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」を遵守しているとは言い難い。

- ・NHK受信料支払いは義務

NHKの受信料の支払いについての報道で検証シートを作成した結果、賛成は7秒、反対は9秒で、どちらでもないシーンは43秒であった。この案件は今後も注視する必要があるが、今回の報道は端的に触れるのみの報道で放送法第四条の見地から検証を行うには絶対的な集計時間が不足していると考える。

「印象操作」に関する所見（最高裁判例の見地から）

- ・エルサレムへのアメリカ大使館移転

現地レポートは雨宮キャスターの「イスラエルの人々の受け止め方はいかがでしょうか」という問いに対して、村瀬記者が答える形で開始された。しかし村瀬記者がいるのはパレスチナ系住民が多くいる市街であり、視聴者が想像するようなイスラエルの人々の反応を取り上げたとは言いにくく、雨宮キャスターの発言も相まってイスラエル国民もトランプ大統領の姿勢に否定的であるかのような印象を受ける報道となっていた。

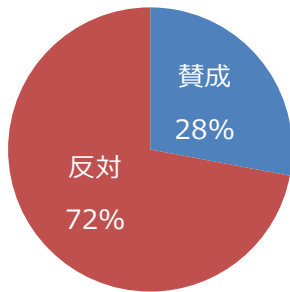
検証者所感

- ・エルサレムへのアメリカ大使館移転

今回の大使館移転に対して各国首脳の多くが否定的な見解を下しているのは事実であろうが、それにしても否定的な意見ばかり取り上げていた。またパレスチナ住民の反応は取り上げていたのに対して、イスラエル側の反応が何一つ取り上げていない点も留意すべき点と思う。

NEWS23 週刊報告 12月1号 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2017年12月7日
出演者：【キャスター】駒田健吾、雨宮塔子、皆川玲奈、星浩		
<p>検証テーマ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカのエルサレム首都認定</li> <li>・国会閉会と森友問題</li> <li>・米軍ヘリからの落下物が保育園の屋根に直撃</li> </ul>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江東区・富岡八幡宮近くで四人が死傷</li> <li>・奈良県生駒市で小学生女兒が殺害 同級生の母を逮捕</li> <li>・米国がエルサレムをイスラエルの首都と正式認定 世界中で反発が広がる</li> <li>・北朝鮮からの木造船漂着 長期滞在者の痕跡を追う</li> <li>・岩手県・岩泉町の町長が釈明会見</li> <li>・速報 江東区・刃物殺傷事件の詳細</li> <li>・沖縄県の保育園屋根に落下物 米軍ヘリからの落下物の疑い</li> <li>・明日（12/8）で事実上国会閉会 くすぶり続ける森友・加計学園問題</li> <li>・国連事務次長が北朝鮮の外相と会談</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> <li>・東京五輪のマスコット候補が出揃う</li> <li>・江東区・刃物切りつけ事件 男女2人死亡、1人意識不明</li> </ul>		
<p>報道内容要旨および検証報告（放送法第4条の見地から）</p> <p>今回の報道で検証対象としたテーマは3つ。</p> <p>報道の具体的な中身については検証シートを参照。</p> <p>以下各テーマについての検証結果を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米国によるエルサレム首都認定</li> </ul> <p>賛否について時間配分及び比率は以下の通り。</p> <p>賛否の基準はエルサレムの首都公認に肯定的か否定的かによる。</p> <p>賛成：26秒（28%） 反対：67秒（72%） なおどちらでもない時間が126秒あった。</p>		



反対に割かれた時間が7割という結果は放送法第4条第2項、政治的に公平であること、に抵触するおそれがある。

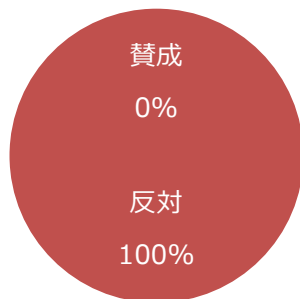
また、世界各国から批判が集まっているという趣旨で、各国代表の意見が伝えられたが、中身はマクロン仏大統領：反対、メイ英首相：不明、メルケル独首相：反対と反対の意見ばかりが集められていたことも放送法第4条第4項、意見が対立する問題については多角的に伝えること、の項目に抵触するおそれがあると考えられる。

- ・ 保育園屋根に米軍のものとみられる落下物

賛否についての時間配分及び比率は以下の通り。

賛否の基準は米軍の姿勢について肯定的か否かで判断した。

賛成：0秒（0%） 反対：24秒（100%） なおどちらでもない時間が106秒あった。



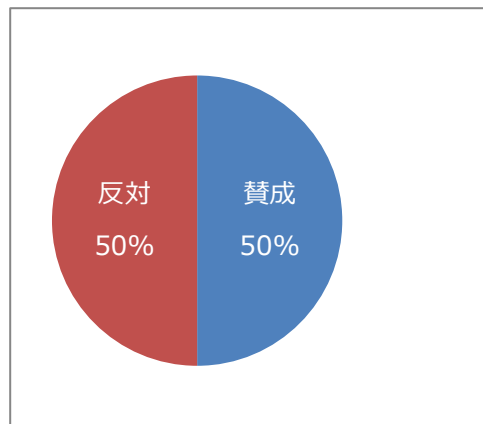
検証結果においては賛否バランスが著しく悪いが、今回の事件においては米軍の安全管理に原因があるため、賛否バランスが偏ることはやむを得ないと判断される。

- ・ 国会閉会と森友問題

賛否についての時間配分及び比率は以下の通り。

賛否の基準は森友・加計学園問題についての意見とした。

賛成：49秒（50%） 反対：49秒（50%） なおどちらでもない時間が77秒あった。



検証結果においては賛否バランスは拮抗しており、バランスの良い報道が為されていたものとする。

放送法第4条のいずれの項目にも違反しない内容であった。

#### ・北朝鮮漁船

北朝鮮のものと思われる木造船漂着についても検証の是非を検討したが、今回は賛否が割れるところではなかった。したがって、放送法4条からの見地での報告の対象とはならないと判断した。

報道内容の要旨は以下。

北朝鮮籍とみられる木造船が漂着している問題について、番組のカメラが乗組員が滞在したとみられる無人島に独占取材を行った。島では地元漁師が使用する小屋から食材や家電など多種多様なものが持ち去られていた。持ち去ったとみられる乗組員は任意の事情聴取を拒否。

漂着の問題は自治体も対処に苦慮しており、船の撤去費用が捻出できないなどの問題が表出している。

#### 「印象操作」に関する所見（最高裁判例の見地から）

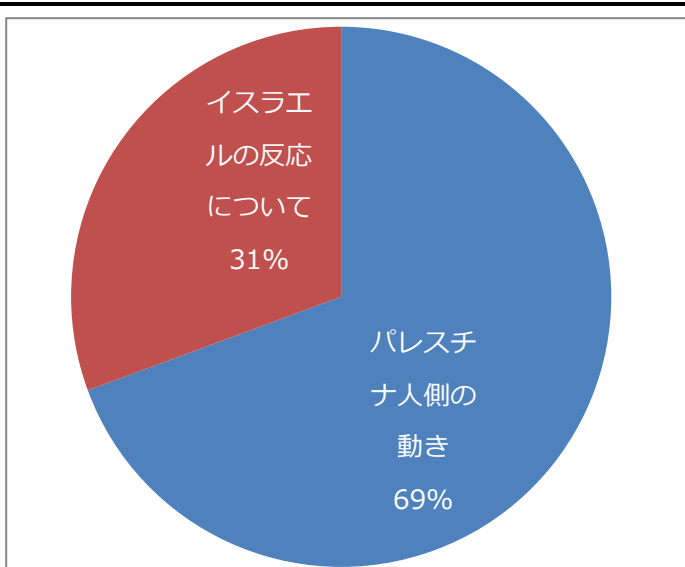
特になし。

#### 検証者所感

・星キャスターがトピック「明日（12/8）で事実上国会閉会」において、国会の党首討論が今年一度も無かったことにふれたことは国会の議論が活性化していないという問題を明らかにする意味で一定の評価に値すると思う。

しかし、責任の所在を「自民党が応じなかった」ことを最大としたのはやや不適切だったようにも感じられる。例えば、今年4月の産経新聞記事では自民党が投げかけた党首討論の日程に対して民進党（当時）の側から集中審議との抱き合わせ開催の交渉を持ちかけ、交渉が決裂した様子が見ええる。自民党側が一方向的に拒否を繰り返したのではなく、与野党の連携がうまくいっていないことが一つの原因と考えられる。

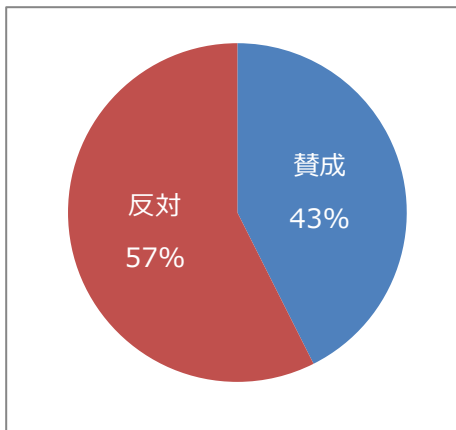
テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2017年12月8日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：北朝鮮漁船、トランプ大統領の「イスラエルの首都のエルサレム」発言、幼児教育無償化		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【最新】東京、富岡八幡宮宮司殺害事件、容疑者は弟夫婦</li> <li>・野村沙知代さん(85)死去</li> <li>・北朝鮮漁船問題</li> <li>・トランプ大統領の「イスラエルの首都エルサレム」発言の影響</li> <li>・北海道苫小牧、ラーメン店から出火し火災</li> <li>・政府、二兆円の経済政策を閣議決定、幼児教育について</li> <li>・都心に猿が出没</li> <li>・今年6月の東名高速道路の事故の被告、事件の二ヶ月後にも煽り運転で追送致</li> <li>・天皇陛下退位日決定 菅官房長官をトップとする検討委員会を設けることとしているとのこと</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【速報】被爆者が国際 NGO の ICAN ノーベル賞受賞に向けノルウェーに到着</li> </ul>		
<p>報道内容要旨および検証報告（放送法第4条の見地から）および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北朝鮮漁船  <p>北海道の函館港沖で海上保安庁の巡視船につながれていた船が突然ロープを切って逃走を試みたということと、新潟県佐渡市で引き上げられた木造船の船内からは乗組員が来ていたとみられる服や金日成主席と金正日総書記のバッジが見つかったということが報じられた。このトピックについて報じられた時間は196秒だった。</p> </li> <li>・トランプ大統領の「イスラエルの首都はエルサレム」発言の影響  <p>アメリカのトランプ大統領がエルサレムをイスラエルの首都と宣言してから初めての金曜日であり、イスラム教徒にとって大切な金曜であり礼拝を終えた人々が各地で怒りの声を上げていることが報じられた。またスタジオでは星キャスターがイスラエル側の受け止め方についてコメントしていた。このトピックについて報じられた時間は130秒であり、うちパレスチナの動きについて報じられたのが77秒、イスラエルの受け止め方について報じられたのが34秒だった。なお比率は以下のとおりである。</p> </li> </ul>		



・政府の経済政策閣議決定と幼児教育について

政府の経済政策について報じるシーンを「賛成」、これに対して否定的な見解を紹介したシーンを反対として計測した。賛否については以下のとおりであった。

賛成：43 秒、反対：58 秒、どちらでもないシーンが 51 秒あった。



「印象操作」に関する所見（最高裁判例の見地から）および該当トピックの報道内容要旨

・幼児教育無償化

星キャスターが「今回は消費税の一部をね、消費税 2%上がるからその一部を使ってやるということなんですけれどもどうしても額が少ない。予算の額が少ないのでちまちまとやるんですよね。そうするとそれに応じてまた保育のニーズが増えるって言うそういう構図になってますんで、やる場合は勿論こうドカーンと増やすと当面のニーズをカバーできるって言うことなんですけれどもなかなかそこに踏み切れないというのが現状ですよ。」とスタジオでコメントしていた。これについては第一に「少ない予算額でちまちまとやる」から「保育のニーズが増える」のではなく、因果関係が逆で、「保育のニーズが増える」のをカバーできるほど税収が増えていないから財源が確保できず「予算の額が少ないのでちまちまとやる」ということになっているのではないだろうか。また第二に、「やる場合はドカーンと増やすと当面のニーズをカバーできる」と言うのは確かにそのとお

りであるが、予算を増やした場合、今後も継続する必要があるため、毎年度の予算を確保する必要があるため、今回予算をつけて終わり、という話ではないだろう。しかし、星キャスターのこのコメントでは、一般の視聴者の普通の注意と視聴の仕方では判断すると、今回予算をつければ解決する、という誤った印象を与えてしまうおそれがあると考えられる。

検証者所感

・トランプ大統領の「イスラエルの首都のエルサレム」発言

スタジオでは星キャスターが「中東情勢に詳しい日本の外交官に聞いてみたんですけども。イスラエルではですね、一般市民だけではなく政権内部でもトランプ氏の決定に対して反対論が強まっているっていうんですね。まあやっぱり治安が悪くなりますからね、それに対する不安もありますよね。そうしてみると今回の決定はイスラエルの利益というよりもトランプさんがアメリカの国内で自分の求心力を高めようという狙いでやったというのがまあありありということですよ。」とコメントしていたけれど、これまでトランプの支持者はプロホワイトやラストベルトだ、と言われることが多かったので、なぜ「イスラエルの首都はエルサレムである」と宣言することがアメリカ国内でのトランプ大統領の求心力の高まりにつながるのかがわからなかった。